

## ○九重町低入札価格調査実施要領

平成30年6月20日

九重町告示第53号

改正 令和元年6月28日告示第47号

令和4年3月15日告示第18号

令和4年4月26日告示第54号

(趣旨)

第1条 この要領は、九重町が一般競争入札又は指名競争入札（以下「競争入札」という。）により工事請負契約を締結しようとする場合における低入札価格調査の手続に関し必要な事項を定めるものとする。

(対象工事)

第2条 低入札価格調査の対象とする工事（以下「対象工事」という。）は設計金額が1億円以上の工事とする。

(低入札価格調査委員会)

第3条 低入札価格調査を行うため、低入札価格調査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(低入札価格調査基準価格)

第4条 契約担当者は、対象工事を競争入札に付そうとするときは、次に掲げる方法で得た額により低入札価格調査基準価格（以下「基準価格」という。）を決定するものとする。

(1) 次に掲げる額の合算額に消費税及び地方消費税を加算した額を設計額で除して得た割合（小数点以下第3位四捨五入）を予定価格に乗じる。ただし、当該割合が10分の9.2を超える場合にあっては予定価格に10分の9.2を乗じて得た額とし、10分の7.5に満たない場合にあっては予定価格に10分の7.5を乗じて得た額とする。

①直接工事費（共通仮設費積上分を含む。）の額に10分の9.7を乗じて得た額

②共通仮設費（共通仮設費率計上分に限る。）の額に10分の9を乗じて得た額

③現場管理費等の額に10分の9を乗じて得た額

④一般管理費の額に10分の6.8を乗じて得た額

(2) 基準価格（消費税及び地方消費税を除く。）は、予定価格に前号で算出した基準割合を乗じて得た額（その額に1万円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額とする。ただし、1万円未満の端数を切り捨てた額が予定価格の10分の7.5に満たないときは、この限りでない。）とする。

2 前項の規定にかかわらず、特に必要と認めるときは、予定価格に10分の7.5から10分の9.2までの範囲内で契約担当者が定める割合を乗じて得た額を基準価格とすることができる。

(失格基準)

第5条 設計金額における各経費の額に次の割合を乗じて得た額の合算額（その額に1万円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）に消費税及び地方消費税を加算した額

(以下「失格基準」という。)を下回る入札は失格とする。

経費区分	割合	備考
直接工事費	87%	共通仮設費積上分を含む。
その他経費	74%	共通仮設費率計上分、現場管理費及び一般管理費等の合計額

(入札参加者への周知)

第6条 契約担当者は、対象工事を競争入札に付そうとするときは、当該工事が低入札価格調査対象工事であることを入札公告(入札説明書を含む。)又は指名競争入札執行通知書に記載するとともに、次に掲げる事項について入札参加者に周知するものとする。

- (1) 第4条に定める基準価格を定めていること。
- (2) 第5条に定める失格基準を定めていること。
- (3) 基準価格を下回る入札(失格基準を下回る入札を除く。以下同じ。)が行われた場合は、落札者の決定を保留して低入札価格調査を実施し、最低の価格の入札をした者(以下「最低価格入札者」という。)以外のものを落札者とする場合があること。
- (4) 入札価格が失格基準を下回る場合、当該入札は失格とすること。
- (5) 基準価格を下回る入札を行った者は、事後の調査に協力すべきこと。

(開札)

第7条 基準価格を下回る入札が行われた場合(総合評価落札方式による入札において基準価格を下回る入札を行った者が最高の評価値を得ていない場合を除く。)には、契約担当者は、落札者の決定を保留して開札を終了し、入札参加者に入札結果を通知のうえ、低入札価格調査を実施するものとする。

- 2 入札価格が失格基準を下回る場合は、当該入札を失格とする。

(調査の実施)

第8条 契約担当者は、第7条第1項により落札者の決定を保留したときは、最低の入札価格について、対象工事の契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるか否かについて、工事担当課等に調査を行わせなければならない。

- 2 第1項の調査は、次の事項について最低価格入札者からの資料の徴取及び事情聴取並びに関係機関への照会により行うものとする。

- (1) その価格により入札した理由及び入札価格の内訳
- (2) その価格により施工ができる特別の事由
  - ア 対象工事の場所の付近における手持工事の状況
  - イ 対象工事に関連する手持工事の状況
  - ウ 入札者の事業所、倉庫等の状況(対象工事の場所との地理的関連)
  - エ 手持資材の状況
  - オ 資材購入先及び購入先と入札者との関係
  - カ 手持機械の状況
- (3) 労務者の具体的供給見通し
- (4) 過去5年間に施工した公共工事名及び発注者

(5) 入札者の経営状態

- ア 経営内容
- イ 経営状況
- ウ 信用状況

(6) その他必要な事項

3 工事担当課等は、前項の調査終了後、当該調査の結果及び対象工事の契約の内容に適合した履行がされないおそれがあるか否かについての意見を付した書面を作成し、委員会に提出しなければならない。

4 契約担当者は、第2項及び第3項の規定にかかわらず、最低価格入札者が過去1年間に第12条第4号の通知を受けている場合は、契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認めるものとする。

(契約の内容に適合した履行がされると認められる場合の手続)

第9条 委員会は、最低価格入札者の入札価格により契約の内容に適合した履行がされると認めるときは、その旨を契約担当者に報告し、契約担当者は、最低価格入札者に落札者とする旨を通知するとともに、他の入札者にその旨を通知するものとする。

(契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められる場合の手続)

第10条 委員会は、最低価格入札者の入札価格によっては契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認めるときは、その旨を契約担当者に通知するものとする。

2 契約担当者は、第1項の通知があったとき又は第8条第4項により契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認めたときは、最低価格入札者を落札者とせず、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札をした他の者のうち最低の価格をもって入札をした者（以下「次順位者」という。）を落札者とする。ただし、次順位者が基準価格を下回る価格で入札をした場合にあつては、第8条の調査を実施した上で落札者とするかどうか決定するものとする。

3 契約担当者は、最低価格入札者を落札者としたくないこととしたときは、最低価格入札者に落札者としたくない旨及びその理由を通知するものとする。

4 契約担当者は、次順位者等を落札者としたときは、次順位者等に落札者とする旨を通知し、他の入札者にその旨を通知するものとする。

(対象工事の入札結果及び調査結果の公表)

第11条 対象工事の入札結果の公表に当たっては、公共工事の発注の見通し、入札及び契約の過程並びに契約の内容に関する公表要綱（平成13年4月26日付け九重町訓令第21号）に定めるもののほか、入札結果表に次に掲げる事項を記載するものとする。

(1) 低入札価格調査を行った場合は、当該調査を実施した旨

(2) 基準価格を下回る入札価格（失格基準を下回る入札価格を除く。）にあつては、基準価格未満である旨

(3) 失格基準を下回る入札価格にあつては、失格である旨

2 低入札価格調査を行った場合の調査結果の概要については、落札者決定後、公表するもの

とする。

(調査対象工事の監督等)

第12条 契約担当者は、低入札価格調査の対象となった者を落札者に決定した場合においては、次に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 施工体制台帳の提出を求め、必要に応じその内容について事情聴取を行う。
- (2) 施工に当たっては、監督、検査等を強化する。
- (3) 下請報告書の提出があった場合は、必要に応じ下請契約関係について事情聴取を行う。
- (4) 契約締結の日から工事目的物引渡後1年を経過するまでの間、必要に応じ、第8条第2項各号に掲げる事項について、提出された資料及び事情聴取における説明(下請契約、資材購入契約の履行状況等を含む。以下「第8条の調査の説明等」という。)に即して施工しているかについて調査を行う。なお、この調査の結果、正当な理由なく、第8条の調査の説明等と異なっていた場合又はこの調査に協力しない場合は、「低入札価格調査における説明と異なる施工を行った」旨の通知を行うものとする。

(総合評価落札方式による入札における取扱い)

第13条 総合評価落札方式による入札において低入札価格調査を実施する場合の第6条及び第8条から第10条までの規定の適用については、第6条第3号中「最低の価格の入札をした者(以下「最低価格入札者」という。)」とあるのは「基準価格を下回る入札を行った者のうち、評価値の最も高い者」と、第8条第1項中「最低の入札価格」とあるのは「基準価格を下回り評価値の最も高い者の入札価格」と、第8条第2項及び第4項、第9条並びに第10条第1項、第2項及び第3項中「最低価格入札者」とあるのは「基準価格を下回る入札を行った者のうち評価値の最も高い者」と、第10条第2項中「他の者のうち最低の価格をもって入札をした者(以下「次順位者」という。)」とあるのは、「他の者のうち評価値の最も高い者」と、第10条中「次順位者」とあるのは「他の者のうち評価値の最も高い者」とする。

## 附 則

この告示は、平成30年7月1日から施行し、同日以後に指名通知又は公告が行われる競争入札に付する建設工事について適用する。

附 則 (令和元年6月28日告示第47号)

この告示は、令和元年7月1日から施行する。

附 則 (令和4年3月15日告示第18号)

この告示は、令和4年4月1日から施行する。

附 則 (令和4年4月26日告示第54号)

この告示は、令和4年5月1日から施行する。